

～ 21世紀は「腸の時代」～

広告

企画・制作 読売新聞社広告局



ビフィズス菌研究のパイオニア
森永乳業の**腸研究**

菌が秘めた果てしない可能性とは？

**飛躍的な進歩を遂げる
ビフィズス菌研究**

近年では、遺伝子を解析するなど技術が大きく進歩し、ビフィズス菌をはじめとする腸内細菌が果たす健康や疾病などの関連を調べる研究も飛躍的に発展を遂げた。森永乳業は自社で研究開発してきた“財産”ともいえるビフィズス菌で、赤ちゃんからお年寄りまで、世界中の人々の健康に貢献したいと考えている。

今月からはBS日テレで新番組「森永乳業 Presents 驚異の腸大紀行！腸内フローラが健康長寿の鍵」が始まる。腸や腸内細菌が秘めた可能性を紹介するこの番組をご覧になることをおすすめしたい。

**森永乳業が切り開いた
ビフィズス菌研究の歴史**

森永乳業は創業以来、母乳と乳児栄養、そして乳幼児の腸内フローラ*の研究に取り組んできた。その過程で、母乳栄養児の赤ちゃんの腸内ではビフィズス菌が圧倒的に優位であることを確認する。ヒト由来のビフィズス菌は酸や酸素に弱く、食品への応用は困難だったが、健康な乳児から「ビフィズス菌BB536」を発見し、1971年、日本で初めてビフィズス菌を乳製品へ応用することに成功した。世界30か国以上で様々な製品に利用されてきた「ビフィズス菌BB536」は、まさに世界で認められたビフィズス菌といえるだろう。

*腸内細菌叢

腸や菌にまつわる情報を紹介
この秋、注目の健康情報番組がスタート！

森永乳業 Presents

BS0テレ 10月5日(月)スタート
毎週月曜よる9:54～放送

人々の健康に役立つ働きで注目される
ビフィズス菌、その研究をリードしてきた
のが森永乳業だ。同社はなぜ、ビフィズス
菌にこだわり続けているのか、そしてその
研究の最新成果は私たちに何をもたらす
のだろうか？

森永乳業